

取扱説明書・保証書

販売元／保証者：シチズン時計株式会社
 本社／〒188-8511 東京都西葛西市田無町6-1-12
 [PAR01] ④

China Japan	Europe North America
JYY	North America

この時計が、受信可能な標準電波は表のとおりです。
 ・この時計は、日本国内の標準電波のみを受信します。

保証書	
商品名	—
側番号	—
一連番号	—
お客様	様
お名前	様
住所	様
お買上げ日	年 月 日
保証期間	お買上げ日より1年間

この時計をご使用中、取扱説明書にそった正常なご使用状態で自然故障を生じた場合には、下記保証規定により無料で修理・調整いたします。

■保証の対象となる部分
 プラッタの回路、コイル等電気部品、歯車等機械部品

■保証の態様（方法）
 修理・調整を原則といたします。
 修理の際、ガラス・ケース・文字板・針・りゅうず・バンドなどは一部代替品を使用させていただくことがありますので、ご了承ください。

■保証を受けるための条件（手続き）
 保証規定による修理・調整の際は必ず現品に保証書を添えてお買上げの店にご持参ください。お客様ご来店などにより、お買上げ後の保証を受けることができない場合は弊社お問い合わせ窓口にお問い合わせください。

■保証の適用除外
 ●修理期間中での場合は有料修理となりますのでご了承ください。
 ●時計の修理・調整、電池交換及び使用中に生じる外観上の変化（ガラス、ケース、バンドの傷、汚れ）
 ●お客様ご自身による修理・改善または、誤ったご使用や不注意による故障及び損傷。
 ●保証書のご提示がない場合。
 ●保証書にお買上げ店名及びお買上げ年月日の記載がない場合、あるいは文字を書き換えられた場合。
 ●天災・火災・事故などによる故障及び損傷。
 ※保証書に記載されている個人情報等は製品の保証に関する以外には使用いたしません。

■修理期間の保有期間などについては取扱説明書をご参照ください。
 ■保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を保證するもので、これによりお客様ご自身の権利を制限するものではありません。
 ※保証書は、日本国内のみ有効です。

THIS GUARANTEE IS VALID ONLY IN JAPAN.

保証とアフターサービス

＜保証について＞
 正常なご使用中、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に添えて、無料修理いたします。保証書は、日本国内のみ有効です。

＜修理用品の保有期間について＞
 弊社は時計の機能を維持するための修理用品を、通常7年間を基準で保持いたします。ただし、ケース・ガラス・文字板・ダイヤル・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞
 弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。修理の可否については、現品ご持参の上販売店にご相談ください。

＜ご転居・ご購入の場合＞
 保証期間中に転居されたり、ご購入のためにご使用の時計がお買上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞
 ・防水性能について
 防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に長くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行っていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、メンテナンスなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除（内装修理）について
 腕時計を長くご使用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は長くご使用いただくことにより磨耗してしましますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜修理について＞
 時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜その他お問い合わせについて＞
 保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

安全上のご注意 — 必ずお読みください —

お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

危険 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

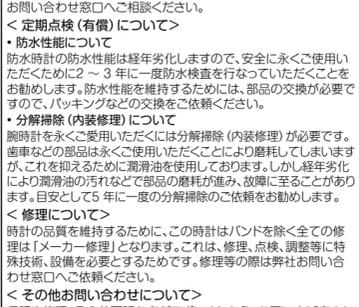
注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

このように絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

このように絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

各部の名称



・ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

・お買上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

商品の特長

ソーラーテック
 光を当てることで充電し、時計を動かします。エネルギーを電気に変換する光発電機能を搭載し、定期的な電池交換が必要ありません。一度充電が完了すると、光が当たらないでも約7ヶ月間時刻を刻み続けます。

電波受信による時刻・日合わせ機能
 標準時刻情報を自動的に受信して時刻と日とを合わせます。標準時刻情報は、福島と九州の電波送信所から送信され、受信環境の良い局を選択して受信します。時計からは電波を受信しませんので、人体や医療機器への影響はありません。

パワーセーブ機能
 長時間文字板に光が当たらない状態が続くと、午前00時00分00秒になった時点で自動的に針の動きが止まり、10分に充電できなくなります。（パワーセーブ作動中も精度範囲内で時刻を刻んでいます。）
 ・時計に光を当てると、パワーセーブが解除され現在の時刻を表示します。
 ・パワーセーブ解除後は、強制受信を行ってからご使用ください。

衝撃検知機能
 時計が衝撃を受けたときに秒針と分針のずれを防ぎます。

JIS1種耐磁性能
 日常生活で境界を発生する機器に5cmまで近づけても、時計の機能を維持します。

充電について

この時計は、文字板の光を当てて充電します。時計を快適にお使いいただくために、時計に光をこまめに当てて充電してください。詳しくは充電についての項目をご覧ください。

■バンド調整について
 お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く。）
 バンドの調整は、お買上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

■保護シールについて
 時計のガラスや金属部分（裏ふた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

■特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた
 モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

■ねじロックりゅうず・ねじロックボタン
 時計を操作するときは、ロックを解除してください。

充電の目安

連続して照射した場合の数の目安です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx, ルクス)	通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	4分	3時間	25時間
屋外（曇天）	10,000	15分	5.5時間	70時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	45分	14時間	160時間
屋内照明	500	4.5時間	80時間	—

・直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが不十分です。
 ・充電完了後、充電しないでも時計が停止するまでパワーセーブが作動しているとき：約2.5年
 ・パワーセーブが作動しないとき：約7ヶ月
 ・充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで：約5日（持続時間は電波受信回数などによって異なります）

電波を受信する

電波受信の方法には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。

＜受信について＞
 標準電波を受信するときは時計を腕から外し、りゅうずの位置を①にした状態でお住まいの地域から近い方の送信所に、時計の左側面（9時側）を向けて、窓際で置いてください。
 ・受信が完了するまで、時計を動かさないでください。
 ・電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示がずれやすくなる場合があります。
 ・標準電波を受信できない場合でも、時計は月差±15秒以内の精度で動き続けます。
 ・受信が完了するまでに、3分～15分程かかります。
 ・秒針が2秒毎に1回動いているとき（充電警告中）は、電波の受信は行われません。先に、充電を行ってください。

受信結果を確認する
 前回の受信結果を確認することができます。

1. りゅうずの位置を①にする
 2. Aボタンを押す
 秒針が、文字板上の受信結果表示位置を指し示します。

OK	受信成功
NO	受信失敗
RX	受信中

・受信結果を表示する前に、電池の充電の状況を秒針の動きでお知らせします。（「充電残量を確保する」をご覧ください。）

3. Aボタンを押して、確認を終了する
 現在の時刻が表示されます。
 ・ボタンを押さなくても、約10秒すると現在の時刻が表示されます。

定時受信（自動受信）
 毎日、夜間に自動的に受信します。
 上記（受信について）をご覧ください。
 ・受信を開始すると、秒針がRXに移動します。
 ・受信中は秒針が回転し、受信開始時から時間差を自動的に修正します。通常運針になるまで時計を動かさないでください。
 ・受信が完了すると、秒針がRXから通常運針になります。
 ・「受信結果を確認する」で受信結果を確認してください。

強制受信（手動受信）
 必要なときにいつでも受信を行えます。受信環境が変わり定時受信できなかった場合などに行ってください。

1. りゅうずの位置を①にする
 2. Aボタンを2秒以上押す
 秒針が[RX]を指したら、Aボタンを離してください。受信が始まります。（受信について）のように時計を置いてください。

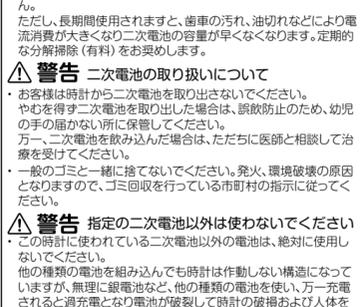
受信中にAボタンを押し続けると、受信が中止されます。受信を中止すると針が速く回り、受信を始める前の時刻に、受信にかかった時間を加えた時刻に戻ります。
 ※受信を中断したり、受信に失敗したときは、時刻・日は修正されません。

標準時刻電波の受信可能地域の目安

この時計は標準電波の受信局自動選択機能付きです。受信可能地域はあくまでも目安ですので、図の範囲でも受信できない場合があります。

＜電波送信所＞
 ・おたかどや山標準電波送信所（福島県）
 ・はなが山標準電波送信所（九州県）

距離は目安としてご利用ください。受信可能地域は、時間帯、季節変化、天候（雷など）などの影響により、変化する場合があります。



日本電波：半径約900km はなが山標準電波送信所
 日本電波：半径約900km おたかどや山標準電波送信所

※標準電波は、人体や医療機器には一切影響がありません。
（電波受信がうまくいかないお客様へ）
 お近くに高圧線があるなど、電波受信が困難な場所であることも考えられます。お近くの送信所の位置などを参考に、受信しやすい場所を調べてください。
 その後、送信所方向の窓際に時計を置いて、手動での受信をお試しください。
 ・窓ガラスに膜が入っていると、受信しにくい場合があります。

＜受信が困難な場所について＞
 電波ノイズが発生しやすい場所や、電波の届きにくい環境条件下では電波を正確に受信できないことがあります。

極端に高温や低温の場所／鉄筋コンクリート建物の中、高層ビルやマンションの地下／道徳中の携帯電話の近く／東の建物の中／高圧線（電線）、電車の線路、飛行機（通信施設）の近く／テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の電化製品やOA機器の近く

手動で時刻・日と合わせる

時刻と日（年・月・日）を、手動で合わせます。

1. りゅうずの位置を②にする
 秒針が30秒の位置に移動します。

2. Aボタンを押す
 秒針が0秒の位置に移動し、分を合わせる準備ができました。

3. りゅうずを回して分を合わせる
 ・1分の修正ごとに、秒針が1回転します。
 ・りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きまわります。針の動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

4. Aボタンを押す
 時計がわずかに動き、時と日とを合わせる準備ができました。

5. りゅうずを回して時刻・日と合わせる
 ・日は時針と連動して替わります。
 ・りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きまわります。針の動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

6. Aボタンを押す
 秒針が現在の月と年を指し、月と年とを合わせる準備ができました。
 ・右記「月の表示」「年の表示」をご覧ください。

7. りゅうずを回して月と年からの経過年と合わせる
 8. 時報などに合わせて、りゅうずの位置を①に戻す
 現在の時刻が表示されます。

うるう年からの経過年の表示
 うるう年か何年経っているか（経過年）は、各月ごとの表示範囲内で、秒針が指す目盛りの位置で表示されます。



秒針の位置	経過年	年
各月の表示範囲の最初の目盛り	0年（うるう年）	2020、2024
1目盛り目	1年	2021、2025
2目盛り目	2年	2018、2022
3目盛り目	3年	2019、2023

万年歴（パーベチュアルカレンダー）

この時計には、2100年2月28日までのカレンダーが記憶されています。一度日を合わせれば、月末ごとの日修正の必要はありません。

うるう年については、弊社ホームページで年表をご覧ください。
<http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>

保証とアフターサービス

＜保証について＞
 正常なご使用中、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に添えて、無料修理いたします。保証書は、日本国内のみ有効です。

＜修理用品の保有期間について＞
 弊社は時計の機能を維持するための修理用品を、通常7年間を基準で保持いたします。ただし、ケース・ガラス・文字板・ダイヤル・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞
 弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。修理の可否については、現品ご持参の上販売店にご相談ください。

＜ご転居・ご購入の場合＞
 保証期間中に転居されたり、ご購入のためにご使用の時計がお買上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞
 ・防水性能について
 防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に長くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行っていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、メンテナンスなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除（内装修理）について
 腕時計を長くご使用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は長くご使用いただくことにより磨耗してしましますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜修理について＞
 時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜その他お問い合わせについて＞
 保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

安全上のご注意 — 必ずお読みください —

お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

危険 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

このように絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

このように絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

商品の特長

ソーラーテック
 光を当てることで充電し、時計を動かします。エネルギーを電気に変換する光発電機能を搭載し、定期的な電池交換が必要ありません。一度充電が完了すると、光が当たらないでも約7ヶ月間時刻を刻み続けます。

電波受信による時刻・日合わせ機能
 標準時刻情報を自動的に受信して時刻と日とを合わせます。標準時刻情報は、福島と九州の電波送信所から送信され、受信環境の良い局を選択して受信します。時計からは電波を受信しませんので、人体や医療機器への影響はありません。

パワーセーブ機能
 長時間文字板に光が当たらない状態が続くと、午前00時00分00秒になった時点で自動的に針の動きが止まり、10分に充電できなくなります。（パワーセーブ作動中も精度範囲内で時刻を刻んでいます。）
 ・時計に光を当てると、パワーセーブが解除され現在の時刻を表示します。
 ・パワーセーブ解除後は、強制受信を行ってからご使用ください。

衝撃検知機能
 時計が衝撃を受けたときに秒針と分針のずれを防ぎます。

JIS1種耐磁性能
 日常生活で境界を発生する機器に5cmまで近づけても、時計の機能を維持します。

充電について

この時計は、文字板の光を当てて充電します。時計を快適にお使いいただくために、時計に光をこまめに当てて充電してください。詳しくは充電についての項目をご覧ください。

■バンド調整について
 お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く。）
 バンドの調整は、お買上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

■保護シールについて
 時計のガラスや金属部分（裏ふた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

■特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた
 モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

■ねじロックりゅうず・ねじロックボタン
 時計を操作するときは、ロックを解除してください。

充電の目安

連続して照射した場合の数の目安です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx, ルクス)	通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	4分	3時間	25時間
屋外（曇天）	10,000	15分	5.5時間	70時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	45分	14時間	160時間
屋内照明	500	4.5時間	80時間	—

・直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが不十分です。
 ・充電完了後、充電しないでも時計が停止するまでパワーセーブが作動しているとき：約2.5年
 ・パワーセーブが作動しないとき：約7ヶ月
 ・充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで：約5日（持続時間は電波受信回数などによって異なります）

電波を受信する

電波受信の方法には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。

＜受信について＞
 標準電波を受信するときは時計を腕から外し、りゅうずの位置を①にした状態でお住まいの地域から近い方の送信所に、時計の左側面（9時側）を向けて、窓際で置いてください。
 ・受信が完了するまで、時計を動かさないでください。
 ・電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示がずれやすくなる場合があります。
 ・標準電波を受信できない場合でも、時計は月差±15秒以内の精度で動き続けます。
 ・受信が完了するまでに、3分～15分程かかります。
 ・秒針が2秒毎に1回動いているとき（充電警告中）は、電波の受信は行われません。先に、充電を行ってください。

受信結果を確認する
 前回の受信結果を確認することができます。

1. りゅうずの位置を①にする
 2. Aボタンを押す
 秒針が、文字板上の受信結果表示位置を指し示します。

OK	受信成功
NO	受信失敗
RX	受信中

・受信結果を表示する前に、電池の充電の状況を秒針の動きでお知らせします。（「充電残量を確保する」をご覧ください。）

3. Aボタンを押して、確認を終了する
 現在の時刻が表示されます。
 ・ボタンを押さなくても、約10秒すると現在の時刻が表示されます。

定時受信（自動受信）
 毎日、夜間に自動的に受信します。
 上記（受信について）をご覧ください。
 ・受信を開始すると、秒針がRXに移動します。
 ・受信中は秒針が回転し、受信開始時から時間差を自動的に修正します。通常運針になるまで時計を動かさないでください。
 ・受信が完了すると、秒針がRXから通常運針になります。
 ・「受信結果を確認する」で受信結果を確認してください。

強制受信（手動受信）
 必要なときにいつでも受信を行えます。受信環境が変わり定時受信できなかった場合などに行ってください。

1. りゅうずの位置を①にする
 2. Aボタンを2秒以上押す
 秒針が[RX]を指したら、Aボタンを離してください。受信が始まります。（受信について）のように時計を置いてください。

受信中にAボタンを押し続けると、受信が中止されます。受信を中止すると針が速く回り、受信を始める前の時刻に、受信にかかった時間を加えた時刻に戻ります。
 ※受信を中断したり、受信に失敗したときは、時刻・日は修正されません。

標準時刻電波の受信可能地域の目安

この時計は標準電波の受信局自動選択機能付きです。受信可能地域はあくまでも目安ですので、図の範囲でも受信できない場合があります。

＜電波送信所＞
 ・おたかどや山標準電波送信所（福島県）
 ・はなが山標準電波送信所（九州県）

距離は目安としてご利用ください。受信可能地域は、時間帯、季節変化、天候（雷など）などの影響により、変化する場合があります。



日本電波：半径約900km はなが山標準電波送信所
 日本電波：半径約900km おたかどや山標準電波送信所

※標準電波は、人体や医療機器には一切影響がありません。
（電波受信がうまくいかないお客様へ）
 お近くに高圧線があるなど、電波受信が困難な場所であることも考えられます。お近くの送信所の位置などを参考に、受信しやすい場所を調べてください。
 その後、送信所方向の窓際に時計を置いて、手動での受信をお試しください。
 ・窓ガラスに膜が入っていると、受信しにくい場合があります。

＜受信が困難な場所について＞
 電波ノイズが発生しやすい場所や、電波の届きにくい環境条件下では電波を正確に受信できないことがあります。

極端に高温や低温の場所／鉄筋コンクリート建物の中、高層ビルやマンションの地下／道徳中の携帯電話の近く／東の建物の中／高圧線（電線）、電車の線路、飛行機（通信施設）の近く／テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の電化製品やOA機器の近く

手動で時刻・日と合わせる

時刻と日（年・月・日）を、手動で合わせます。

1. りゅうずの位置を②にする
 秒針が30秒の位置に移動します。

2. Aボタンを押す
 秒針が0秒の位置に移動し、分を合わせる準備ができました。

3. りゅうずを回して分を合わせる
 ・1分の修正ごとに、秒針が1回転します。
 ・りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きまわります。針の動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

4. Aボタンを押す
 時計がわずかに動き、時と日とを合わせる準備ができました。

5. りゅうずを回して時刻・日と合わせる
 ・日は時針と連動して替わります。
 ・りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きまわります。針の動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

6. Aボタンを押す
 秒針が現在の月と年を指し、月と年とを合わせる準備ができました。
 ・右記「月の表示」「年の表示」をご覧ください。

7. りゅうずを回して月と年からの経過年と合わせる
 8. 時報などに合わせて、りゅうずの位置を①に戻す
 現在の時刻が表示されます。

うるう年からの経過年の表示
 うるう年か何年経っているか（経過年）は、各月ごとの表示範囲内で、秒針が指す目盛りの位置で表示されます。



秒針の位置	経過年	年
各月の表示範囲の最初の目盛り	0年（うるう年）	2020、2024
1目盛り目	1年	2021、2025
2目盛り目	2年	2018、2022
3目盛り目	3年	2019、2023

万年歴（パーベチュアルカレンダー）

この時計には、2100年2月28日までのカレンダーが記憶されています。一度日を合わせれば、月末ごとの日修正の必要はありません。

うるう年については、弊社ホームページで年表をご覧ください。
<http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>

保証とアフターサービス

＜保証について＞
 正常なご使用中、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に添えて、無料修理いたします。保証書は、日本国内のみ有効です。

＜修理用品の保有期間について＞
 弊社は時計の機能を維持するための修理用品を、通常7年間を基準で保持いたします。ただし、ケース・ガラス・文字板・ダイヤル・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞
 弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。修理の可否については、現品ご持参の上販売店にご相談ください。

＜ご転居・ご購入の場合＞
 保証期間中に転居されたり、ご購入のためにご使用の時計がお買上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞
 ・防水性能について
 防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に長くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行っていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、メンテナンスなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除（内装修理）について
 腕時計を長くご使用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は長くご使用いただくことにより磨耗してしましますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜修理について＞
 時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜その他お問い合わせについて＞
 保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

安全上のご注意 — 必ずお読みください —

お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

危険 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

このように絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

このように絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

商品の特長

ソーラーテック
 光を当てることで充電し、時計を動かします。エネルギーを電気に変換する光発電機能を搭載し、定期的な電池交換が必要ありません。一度充電が完了すると、光が当たらないでも約7ヶ月間時刻を刻み続けます。

電波受信による時刻・日合わせ機能
 標準時刻情報を自動的に受信して時刻と日とを合わせます。標準時刻情報は、福島と九州の電波送信所から送信され、受信環境の良い局を選択して受信します。時計からは電波を受信しませんので、人体や医療機器への影響はありません。

パワーセーブ機能
 長時間文字板に光が当たらない状態が続くと、午前00時00分00秒になった時点で自動的に針の動きが止まり、10分に充電できなくなります。（パワーセーブ作動中も精度範囲内で時刻を刻んでいます。）
 ・時計に光を当てると、パワーセーブが解除され現在の時刻を表示します。
 ・パワーセーブ解除後は、強制受信を行ってからご使用ください。

衝撃検知機能
 時計が衝撃を受けたときに秒針と分針のずれを防ぎます。

JIS1種耐磁性能
 日常生活で境界を発生する機器に5cmまで近づけても、時計の機能を維持します。

充電について

この時計は、文字板の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを、内蔵の二次電池に蓄えることができます。充電は、文字板に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより行われます。

時計を太陽光の当たらない窓際などの明るい場所に置き、次のように充電すると、快適にご使用いただけます。

・月に一度は直射日光に当てて、5～6時間充電する
 ・光の当たらない場所での長期保管を選択する

注意
 ・高温下（約60℃以上）での充電はおやめください。
 ・衣類などで時計が隠れて光に当たらないとき、十分に充電できなくなります。
 ・充電残量を確保する
 秒針の動きで、充電のようをお知らせします。

1. りゅうずの位置を①にする
 2. Aボタンを押す
 ボタンを押した直後に、秒針が反時計回りに15秒戻る動きをしたときは、充電が必要です。
 ・秒針が反時計回りに動かなかった場合は、十分充電がされています。
 ※この操作は、受信結果確認と同じ操作になります。
 ・時計は、「OK」または「NO」を指しますが、これは受信結果であり、充電の様子とは関係ありません。

3. Aボタンを押して、確認を終了する
 ・ボタンを押さなくても、約10秒すると現在の時刻が表示されます。

充電警告機能
 充電不足になると、秒針が1秒運針から2秒運針（2秒毎に1回2目盛りずつ進む動作）に切り替わります。2秒運針が始めてから約5日以上経過すると、充電不足で時は停止します。充電不足にならないように、常に充電を心がけてください。2秒運針

2 秒運針

「電波受信」「電波受信結果の確認」「時差の修正」「基準位置確認と修正」の最中に充電不足が発生すると自動的に操作を中断し、操作前時刻に戻り、2秒運針をはじめます。

充電時間の目安

連続して照射した場合の数の目安です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx, ルクス)	通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	4分	3時間	25時間
屋外（曇天）	10,000	15分	5.5時間	70時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	45分	14時間	160時間
屋内照明	500	4.5時間	80時間	—

・直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが不十分です。
 ・充電完了後、充電しないでも時計が停止するまでパワーセーブが作動しているとき：約2.5年
 ・パワーセーブが作動しないとき：約7ヶ月
 ・充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで：約5日（持続時間は電波受信回数などによって異なります）

電波を受信する

電波受信の方法には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。

＜受信について＞
 標準電波を受信するときは時計を腕から外し、りゅうずの位置を①にした状態でお住まいの地域から近い方の送信所に、時計の左側面（9時側）を向けて、窓際で置いてください。
 ・受信が完了するまで、時計を動かさないでください。
 ・電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示がずれやすくなる場合があります。
 ・標準電波を受信できない